

# ご存知ですか？ 医薬品副作用被害救済制度 ～医薬品副作用被害救済制度30周年記念事業シンポジウム～

【日時】平成22年12月6日（月） 13:00～17:00  
【場所】全社協・灘尾ホール（300名）  
【入場料】無料 \*事前の登録は必要ありません

## ◆医薬品副作用被害救済制度とは（概要説明）

13:10～13:20

## ◆講演

【パート1】13:20～14:20

### 「いかに救済制度は作られたか」

健康被害者の経験談、制度発足までの経緯等の講演

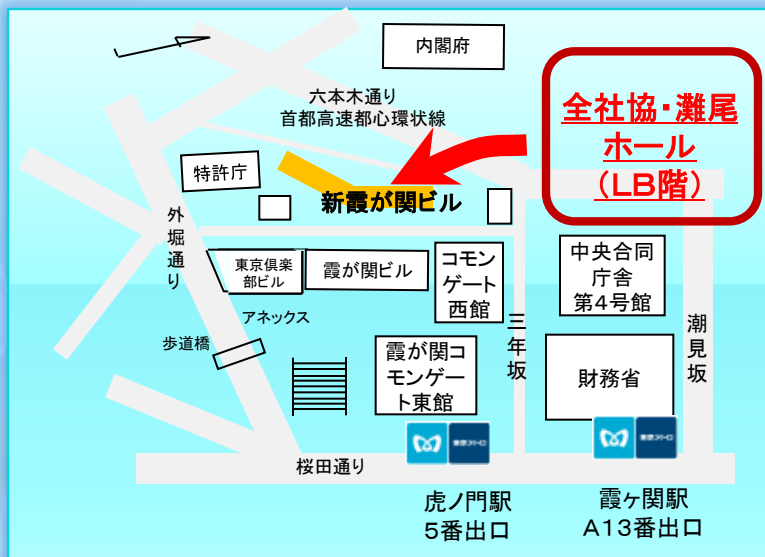
【パート2】14:30～16:55（途中休憩あり）

### 「救済制度のいま」（現状と課題）

救済制度利用者の経験談、救済制度の現状の講演

## ディスカッション

～制度をもっと知っていただくには～



### 〈会場へのアクセス〉

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号  
新霞が関ビル LB階

・地下鉄銀座線  
「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分

・地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線  
「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

\*駐車場はございませんので、お越しの際には、公共の交通機関をご利用ください。

詳しくはPMDA(医薬品医療機器総合機構) ホームページでご確認ください。

<http://www.pmda.go.jp/>

【問い合わせ先】独立行政法人医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部

(電話) 03-3506-9460

主催：独立行政法人医薬品医療機器総合機構

後援：厚生労働省（予定）

# プログラム

○PMDA 理事長、厚生労働省関係者あいさつ

13:10～13:20

○医薬品副作用被害救済制度とは（概要説明）

◇PMDA関係者

## パート1 「いかに救済制度は作られたか」

13:20～14:00

○スモン患者及びサリドマイド患者の立場から

◇高橋 豊栄氏（スモンの会全国連絡協議会議長）

◇増山 ゆかり氏（財団法人いしずえ前常務理事）

14:00～14:20

○救済制度創設に関わった有識者

◇大田 晋 氏（川崎医療福祉大学教授）

## パート2 「救済制度のいま」（現状と課題）

14:30～15:00

○制度利用者の立場から

◇患者ご本人

◇利用者の家族

15:15～15:45

○PMDA救済業務委員会委員の立場から

◇溝口 秀昭 氏（東京女子医科大学名誉教授）

15:55～16:55

○「制度をもっと知っていただくには」（ディスカッション）

【メンバー】

◇溝口 秀昭 氏（東京女子医科大学名誉教授）【進行役】

◇木津 純子 氏（慶應義塾大学薬学部教授）

◇沖村 一徳 氏（日本製薬団体連合会救済制度委員会委員長）

◇山本 信夫 氏（社団法人日本薬剤師会副会長）

◇湯浅 和恵 氏（スティーブンス・ジョンソン症候群患者会代表）

◇栗原 敦 氏（全国薬害被害者団体連絡協議会世話人）

○閉会のあいさつ